

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

最高のプロフェッショナルであり続ける

② 中長期の経営戦略

1. 投資運用事業

投資家から資金を預かり、都心・大型不動産に投資・運用するファンドビジネス。利益最大化を第一に考える

3. 施設運営事業

宿泊施設等を自ら運営し、顧客価値尊重と地域共生を図るホスピタリティサービスを提供

2. 投資銀行事業

自己勘定で中小型賃貸不動産を首都圏・全国で投資対象とし、物件価値最大化後に売却益を新規取得原資に充当

4. 事業領域の拡大

再生可能エネルギー分野への投資など、高い資本効率が見込める領域を厳選して拡張

③ 対処すべき課題

① 資本市場との対話と信頼構築

- ・短期的な利益平準化を目的とした早期売却は行わず最大価値での売却を徹底
- ・財務情報と投資判断の規律について積極的な情報開示と対話で適正株価評価を獲得

② 収益獲得機会の深化

- ・コロナ禍での逆張り投資成功に象徴されるように市場の歪みや変化を敏速に捉える
- ・中長期的に安定収益が見込める中小型賃貸不動産を厳選取得し価値向上を図る

③ 優秀な人材確保と育成

- ・成長意欲の高い人材を採用し社内教育を通じて育成する環境を整備
- ・若年層を重要な役割に積極的に登用し柔軟な発想と対応力を強化

面接で使えるポイント

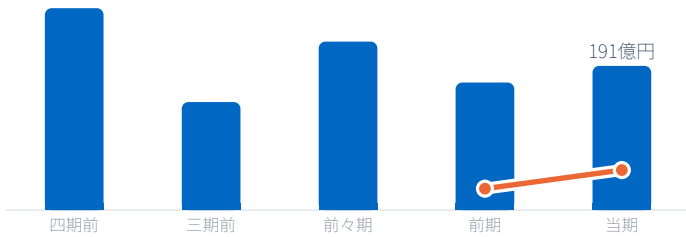
- ・クライアントファースト・パフォーマンスファースト・コンプライアンスファーストの3つの行動規範のもとで事業展開
- ・コロナ禍での逆張り投資の成功など市場の変化に対応しながら収益機会を追求する柔軟性
- ・不良債権処理や再生可能エネルギーなど既存業界慣習を見直し社会課題解決を図る姿勢

ファーストブラザーズ株式会社

不動産業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 11月30日 …

証券コード 3454

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
191億円

営業利益率
27.8%

財務健康度
52点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 55.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
830万円
不動産業内 39位/130社

平均年齢
41.9歳
不動産業内 43位/131社

平均勤続
5.2年
不動産業内 77位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ファーストブラザーズ[3454]: コーポレート・ガバナンスに

ファーストブラザーズ株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書
将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。
投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

